

ランピースキン病ワクチン接種県由来の牛肉 の対米輸出停止措置が解除されました

令和6年11月21日のランピースキン病(以下LSD)ワクチン接種開始に係る対応としてワクチン接種牛の米国輸出再開について米国と協議がなされていましたが、協議を継続した結果、当該ワクチン接種による輸入制限を撤廃することで米国当局と合意が得られたため、ワクチンを接種していても従来どおり輸出が可能となります。

なお、現在米国当局とLSDワクチン接種県由来の牛肉受入開始日程を調整中のため、調整完了までは米国向け輸出食肉取扱施設(※1)については、当該ワクチン接種牛について引き続き従前の対応(※2)の継続をお願いします。
当該日程が確定しましたら別途ご案内いたします。

※1 岐阜県内では飛騨食肉センターが該当します。

※2 LSDワクチン接種牛は米国向け輸出牛肉取扱施設への搬入ができません。ワクチン接種牛には、売買・市場出荷・と畜場出荷等の搬出の際に福岡県から発行されるワクチン接種証明書を大切に保管してください。

ウイルス侵入防止対策の継続をお願いします

- ・ サシバエ等吸血昆虫を減らす
- ・ 車内に入り込んだサシバエ等の殺虫



冬前のサシバエ1匹は
来シーズンの1万匹に相
当すると言われています
(農林水産省HP)

- ・ 消毒の徹底
(消毒用エタノール、逆性石鹼など一般的な消毒薬が有効)



LSDに関する情報はこちら
(農林水産省HP)

飛騨家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL:0577-33-1111(内線403) FAX:0577-32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp※閉庁時には案内メッセージに従って対応をお願いします。

飛騨家畜保健衛生所
家畜衛生情報は
こちら⇒

